



製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-PU2220B

EB-PU2216B

EB-PU2213B

EB-PU2120W

EB-PU2116W

EB-PU2113W

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver. 1.04の概要	4
オプション品に関する変更 (Ver. 1.04)	4
ファームウェア Ver.1.05の概要	5
メニュー項目に関する変更 (Ver. 1.05)	5
ファームウェア Ver.2.00の概要	6
ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.00)	6
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)	6
操作方法に関する変更 (Ver.2.00)	6
ファームウェア Ver.2.50の概要	7
ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.50)	7
操作方法に関する変更 (Ver.2.50)	7

ファームウェアの変更詳細について 8

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.05)	9
スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応	9
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)	10
グループタイリング	10
シンプルブレンディング	10
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)	11
スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)	11
曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)	11
オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング(プロジェクターのメニューで調整するとき)	12
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.50)	14
映像アスペクト選択 (カメラアシストV150)	14
はみ出し投写 (カメラアシストV150)	14
オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 1.04)	15

ELPLU03、ELPLW05、ELPLM08、ELPLM09をサポート	15
IEC62471-5に基づく危険距離	15

付録 16

一般のご注意	17
ご注意	17
商標について	17
著作権について	17

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver. 1.04の概要」 [p.4](#)
- 「ファームウェア Ver.1.05の概要」 [p.5](#)
- 「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.2.50の概要」 [p.7](#)

ファームウェア Ver. 1.04での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「オプション品に関する変更 (Ver. 1.04)」 [p.4](#)

オプション品に関する変更 (Ver. 1.04)

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- レンズユニットELPLU03、ELPLW05、ELPLM08、ELPLM09

ファームウェア Ver. 1.05での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver. 1.05)」 [p.5](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver. 1.05)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [拡張設定] > [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ] に [21:9] を追加
- [映像] > [アドバンスト] > [EDID] に [3440×1440] と [2560×1080] を追加

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)

- Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応
- オプションの外付けカメラを使って2台のプロジェクターの投写映像から横長の映像を作成

ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.5

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [グループタイリング] を追加、[グルーピング]、[タイリング]、[表示倍率] のメニュー階層を変更
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [シンプルブレンディング] が追加されます。

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング&ブレンディングが追加されます。

ファームウェア Ver.2.50での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.50)」 [p.7](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.50)」 [p.7](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.50)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.52

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

操作方法に関する変更 (Ver.2.50)

本バージョンでは、カメラアシストV150をサポートしています。

詳しくは以下を参照してください。

https://download2.ebz.epson.net/sec_pubs_visual/camera_assist/JA

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.05)」 [p.9](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.10](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.11](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.50)」 [p.14](#)
- 「オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 1.04)」 [p.15](#)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応」 [p.9](#)



[3440×1440] と [2560×1080] は、[EDIDプリセット] が [3480×2160/30Hz] に設定されているときのみ有効です。

スクリーンタイプを [21:9] に設定すると、[EDID] は自動的に [2560×1080/60Hz] に設定されます。

スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応

[拡張設定] メニューの [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ] に [21:9] を追加しました。[映像] メニューの [アドバンスド] > [EDID] に、21:9向けの設定値を追加しました。

Microsoft Teams Roomsでフロントローレイアウトを使ってビデオ会議を行うときに便利です。

変更前の設定メニュー (Ver. 1.04)

メニュー	設定値
スクリーンタイプ	4:3, 16:9, 16:10
EDID > 入力解像度	各種設定値

変更後の設定メニュー (Ver. 1.05)

メニュー	設定値
スクリーンタイプ	4:3, 16:9, 16:10, 21:9
EDID > 入力解像度	変更前の設定値, 3440×1440, 2560×1080

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「グループタイリング」 p.10
- 「シンプルブレンディング」 p.10

グループタイリング

[拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [グループタイリング] が追加され、[グルーピング]、[タイリング]、[表示倍率] のメニュー階層が変更されます。

変更前のマルチプロジェクションメニュー (Ver.1.05)

- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [グルーピング]
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [タイリング]
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [表示倍率]

変更後のマルチプロジェクションメニュー (Ver.2.00)

- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [グループタイリング]
> [グルーピング]
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [グループタイリング]
> [タイリング]
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [グループタイリング]
> [表示倍率]

シンプルブレンディング

[拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [シンプルブレンディング] が追加されます。

[配置設定]

プライマリープロジェクターの位置を設定します。

[全体画面アスペクト]

結合後の画面のアスペクト比を設定します。

[自動調整開始]

外付けカメラを使って投写映像を自動で調整します。

[スクリーンマッチング]

投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「スタッキング&ブレンド (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 p.11
- 「曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 p.11
- 「オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンド (プロジェクターのメニューで調整するとき)」 p.12

スタッキング&ブレンド (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)

Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング&ブレンドが追加されます。[幾何学歪み補正アシスト スタッキング&ブレンド機能] ウィザードを使うと、複数のプロジェクターからの投写映像をつなげたり重ねたりして、ひとつなぎの大きな明るい映像を簡単に作成できます。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

- 1** Epson Projector Professional Toolを起動します。
- 2** [レイアウト/監視] タブでスタッキング&ブレンドに対応しているプロジェクターをグループ化します。
- 3** [グループ作成] 画面で [ブレンド・スタッキング設定] を選択します。
- 4** [ブレンド・スタッキング設定] で、プロジェクターの位置を指定します。

- 5** [幾何学歪み補正アシスト スタッキング&ブレンド機能] ウィザードを起動します。

必要に応じて、以下を行ってください。

- [スクリーンマッチング]：投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。
- [ポイント補正]：投写映像の画素ずれを調整します。

曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応します。

変更前の投写画面の合成 (Ver.1.05)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面のみに対応していました。

変更後の投写画面の合成 (Ver.2.00)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、以下の機能も曲面に対応します。

- スクリーンマッチング (凸面は対応していません)
- カラーキャリブレーション
- ブレンド
- スタッキング
- スタッキング & ブレンド

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。



カメラアシスト機能で曲面に投写した映像を補正する場合は、次の内容を確認してください。

- グループ内のすべてのプロジェクターが曲面補正機能に対応していること
- 本ソフトウェアによる投写映像の自動調整を実行する前に、スクリーン全体に対するリニアリティーの位置を決めて、スクリーン上にリニアリティー調整の目印となるシールなどを貼り付けること
- リニアリティー調整用のシールは投写面に対して等間隔に貼り付けること
- [幾何学歪み補正アシスト] ウィザードの形状補正時に、補正ポイントの数と位置をリニアリティー調整用のシールに合わせること

オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング (プロジェクターのメニューで調整するとき)

オプションの外付けカメラを使って2台のプロジェクターの投写映像から横長の映像を作成できます。

この機能はオプションの外付けカメラを装着しているときのみ有効です。



シンプルブレンディングを実行するときは、以下の条件を満たすことを推奨しています。

- 各プロジェクターに外付けカメラを装着している
- 使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している
- そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している
- 投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている
- 外付けカメラや投写映像を遮っていない
- 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である (スクリーン照度が40ルクス以下の場合、プロジェクター1台あたり、以下の投写サイズが推奨値)
 - 9.9Klmまで：50インチ～200インチ
 - 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ
 - 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
 - 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
 - 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
 - 30Klm：100インチ～500インチ
- すべてのプロジェクターが同じ解像度である (スクリーンマッチング以外)
- [拡張設定] メニューの [設置モード] がすべてのプロジェクターで [フロント] または [フロント・天吊り] に設定されている

1 2台のプロジェクターをLANケーブルで接続します。

- 2** 両方のプロジェクターでネットワークメニューのDHCPが [オン] に設定されていることを確認します。



IPアドレスが有効になるまで約1分かかります。

- 3** [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [シンプルブレンディング] の順に選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【決定】ボタンを押します。

- 4** [配置設定] を選択して、[A1] または [B1] からプライマリプロジェクターの位置を指定します。

- 5** [全体画面アスペクト] 設定で結合後の横長画像のアスペクトを選びます。



[全体画面アスペクト] 設定では以下のアスペクトが選択できます。

- 21:9(EDID 3440x1440)
- 21:9(EDID 2560x1080)
- 16:6(EDID 2880x1080)
- 16:6(EDID 1920x720)
- 3:1(EDID 3240x1080)
- 32:10(EDID 3456x1080)
- 32:9(EDID 3200x900)

- 6** [自動調整開始] を開始します。
画面の指示に従って、各プロジェクターの投写位置を調整します。リモコンの【レンズシフト】ボタンまたは操作パネルの【レンズ】

ボタンを使って投写位置を調整しきれない場合は、各投写映像の色付き帯の部分が重なるようにプロジェクター本体を動かします。

- 7** 自動調整が終了したら、画面の指示に従って [形状補正] を行います。

- 8** [スクリーンマッチング] を実行します。



シンプルブレンディングがうまくできないときは、次の対処法を確認してください。

- プロジェクターが適切に設置され、LANケーブルで接続されていることを確認します。
- 外付けカメラが正しく装着され、プロジェクターと接続するケーブルが抜けていないことを確認します。
- 外付けカメラが故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 補正環境の明るさが変化すると、シンプルブレンディングが正しく機能しないことがあります。強いスポット光や外光が入らないようにしてください。
- 投写サイズを適切に調整します。
- シンプルブレンディングを実行中にエラーメッセージが表示されたら、エラーコードを確認してください。
 - 0402：測定失敗
 - 0406：幾何学歪み補正エラー
 - 0407/0408：カメラエラー、または通信エラー
 詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「映像アスペクト選択 (カメラアシストV150)」 [p.14](#)
- 「はみ出し投写 (カメラアシストV150)」 [p.14](#)

映像アスペクト選択 (カメラアシストV150)

入力映像のアスペクト比が16:9の場合でも、Epson Projector Professional Toolの「幾何学歪み補正アシスト」が動作するようになります。

変更前 (Ver. 2.00)

「幾何学歪み補正アシスト」は16:10のみ対応していました。

変更後 (Ver. 2.50)

「幾何学歪み補正アシスト」の次の機能で、16:10に加えて16:9の映像アスペクトにも対応します。

- スタッキング
- ブレンディング (横方向のみ)
- スタッキング&ブレンディング (横方向のみ)

はみ出し投写 (カメラアシストV150)

Epson Projector Professional Toolの「幾何学歪み補正アシスト」ウィザードが、はみ出し投写に対応しました。

投写対象エリアと隣り合う壁などに投写映像がはみ出している場合でも、投写映像の自動調整が可能です。

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

▶ 関連項目

- 「ELPLU03、ELPLW05、ELPLM08、ELPLM09をサポート」 [p.15](#)

ELPLU03、ELPLW05、ELPLM08、ELPLM09をサポート

ファームウェアをVer. 1.04に更新すると、お使いのプロジェクターでレンズユニットELPLU03、ELPLW05、ELPLM08、ELPLM09が使用できます。レンズユニットELPLU03、ELPLW05、ELPLM08、ELPLM09の詳細については、『仕様一覧』を参照してください。

▶ 関連項目

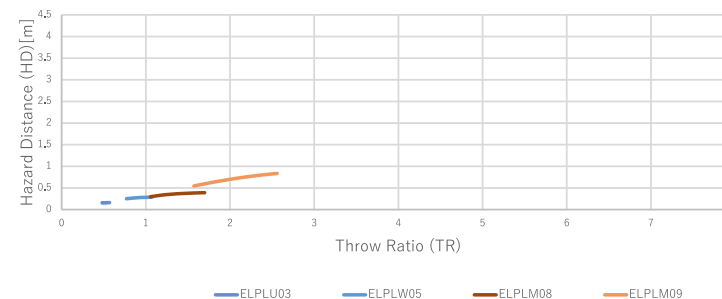
- 「IEC62471-5に基づく危険距離」 [p.15](#)

IEC62471-5に基づく危険距離

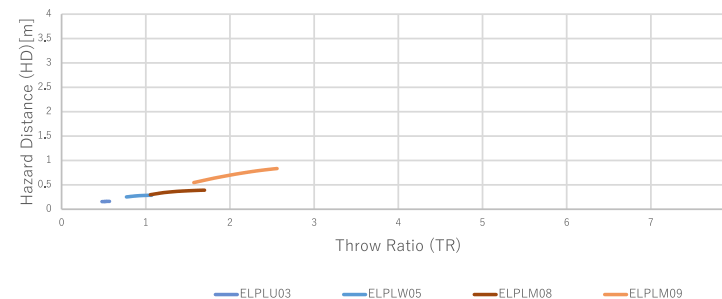
リスクグループ3に該当するプロジェクターと交換レンズを使用する場合は、目へのビームの直接被ばくを禁止します。作業者は障害距離内でのビームへの被ばくを管理するか、障害距離内での目への露光を避ける高さに製品を設置してください。

表中の距離より近づいてレンズをのぞき込むと視力障害などの原因となります。

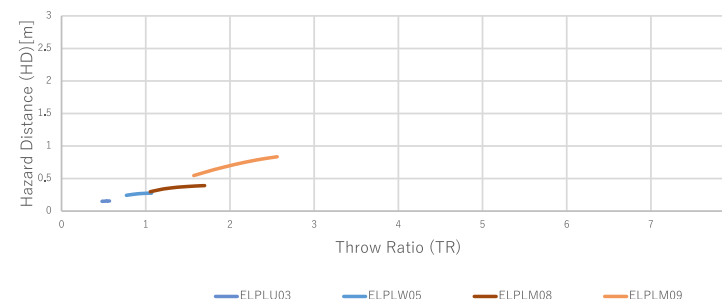
EB-PU2220B/EB-PU2120W:



EB-PU2216B/EB-PU2116W:



EB-PU2213B/EB-PU2113W:



付録

次の点にご留意ください。

▶▶ **関連項目**

- 「一般のご注意」 [p.17](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.17
- 「商標について」 p.17
- 「著作権について」 p.17

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2023 Seiko Epson Corporation

Rev.1.0 2023.05 JA

Rev.2.0 2024.03 JA